



山陰西部国道事務所 事業概要 2025

俵山・豊田道路



益田・田万川道路



山陰西部国道事務所の事業

■ 山陰道の概要

山陰道は、鳥取県鳥取市を起点とし、山口県下関市を終点とする、延長約380kmの道路です。この道路は、鳥取・島根・山口3県における主要都市を東西に結び、移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセスの強化を図ることにより、各地域間の交流・連携の強化および推進、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興を目的として整備を進めています。

また、災害に強い国づくりを推進し、更に活力ある地域社会を形成するために、地域の自立的発展を支援する視点からも重要な路線です。

山口県内における山陰道の整備進捗率は、鳥取、島根と比較して低くなっており、山陰地方の連携強化、地域振興、防災のため、引き続き整備を促進してまいります。

山陰西部国道事務所の事業進捗

事業名	事業化	用地着手	工事着手
191 国道191号 益田・田万川道路	令和3年度	令和5年度	令和7年度
191 国道191号 木与防災	平成29年度	平成30年度	令和元年度
191 国道191号 大井・萩道路	令和3年度	令和5年度	令和7年度
191 国道191号 三隅・長門道路	令和5年度	令和7年度	
491 国道491号 俵山・豊田道路	平成28年度	平成30年度	令和元年度

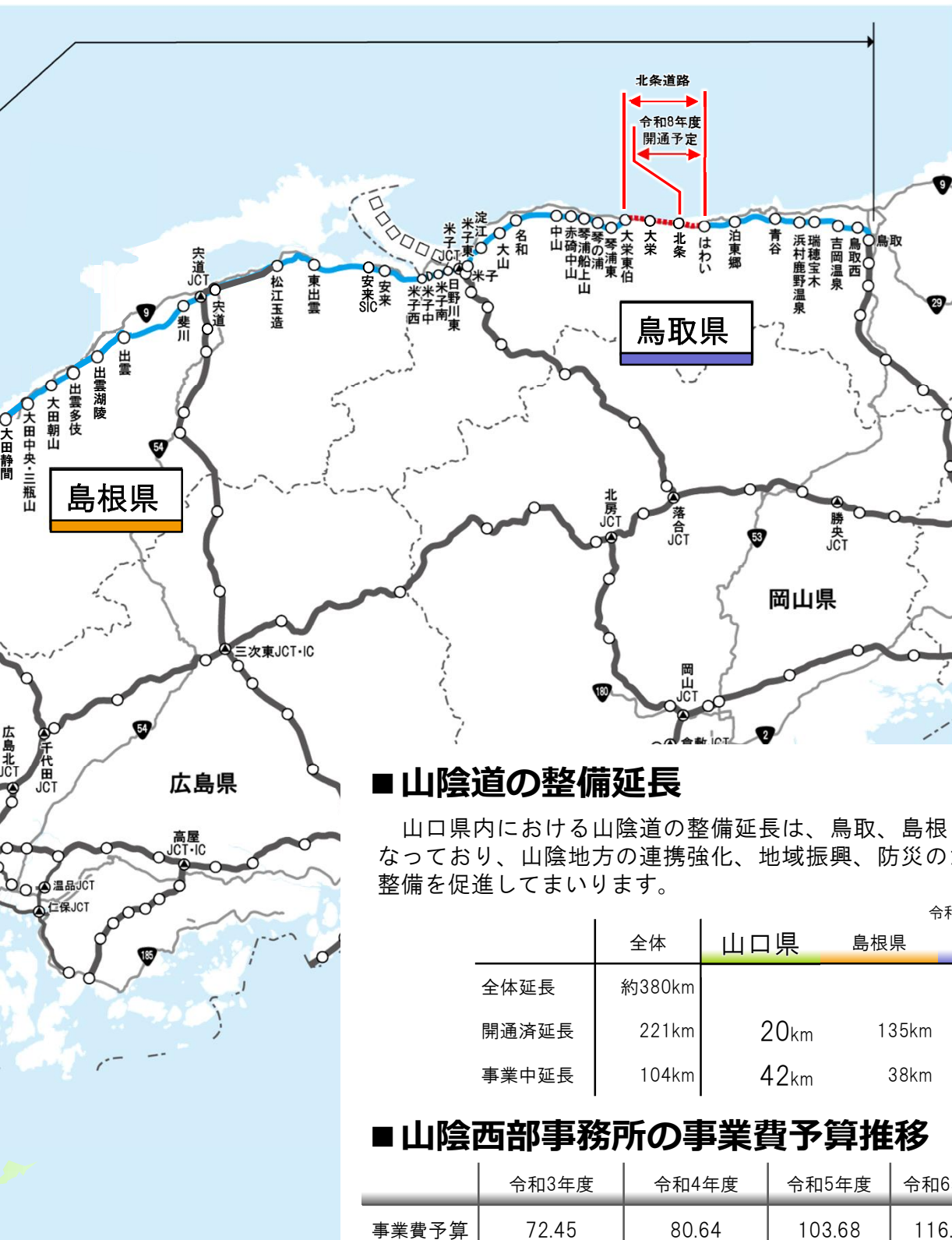
凡 例	
山陰自動車道	
	開 通 済
	事 業 中
	調 査 中
	IC・JCT
その他の高規格幹線道路及び一般有料	
	高規格幹線道路
	一般有料
	事 業 中
	調 査 中



■ 山陰西部国道事務所の取り組み

山陰西部国道事務所は山陰道の現場に近いメリットを活かし、地域の方々と連携し、整備をより一層強力に推進するため、令和2年度より新たに山口県萩市に開設されました。

管轄する区間は島根県益田市以西の山陰道で、道路計画、環境影響評価、調査設計、用地取得、改築工事を担当します。



WISENET2050 《経済成長と国土安全保障を実現するシームレスネットワークの構築》

国土交通省では“2050年、世界一、賢く安全で持続可能な基盤ネットワークシステム”をWISENET（ワイズネット）※と位置づけ、その実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造への貢献を目指しています。

※**WISENET** : **W**orld-class **I**nfrastructure with **3S**(Smart, Safe, Sustainable) **E**mpowered **N**ETwork

移動のしやすさ



資料：WISENET2050・政策集

ワイズネット WISENETのコンセプト



シームレスなネットワークを構築！

これまでは増大する交通需要に対応し、ネットワークを早期につなぐこと（交通需要追従型）が求められてきましたが、行政界や管理境でサービスレベルのギャップ等の課題が顕在化しています。

今後は、道路の階層性に応じた移動しやすさや強靱性（通行止めリスク）など、求められるサービスレベルを達成するためのネットワーク構築（サービスレベル達成型）を目指していきます。

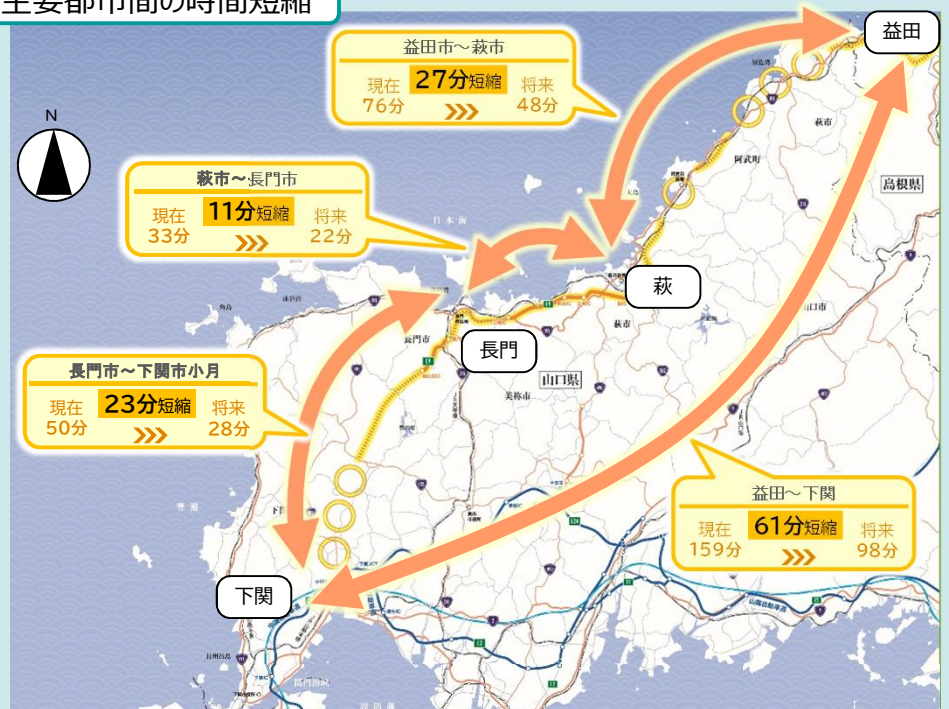
山陰道に求められる役割

山陰道が開通することで、シームレスなネットワークが構築され、主要都市間の所要時間が大幅に短縮します。これにより、地域産業・経済の活性化や広域観光周遊の活性化、救急医療サービスの向上を支援します。

凡 例	
—	高速道路
—	国道
—	県道
○○○	山陰道(計画区間)
■■■	山陰道(開通区間)
 	山陰道(事業中区間)

現況：令和3年道路交通センサス 混雑時旅行速度を基に算出
整備後：現況を基本に山陰道の旅行速度は80km/hに設定

主要都市間の時間短縮



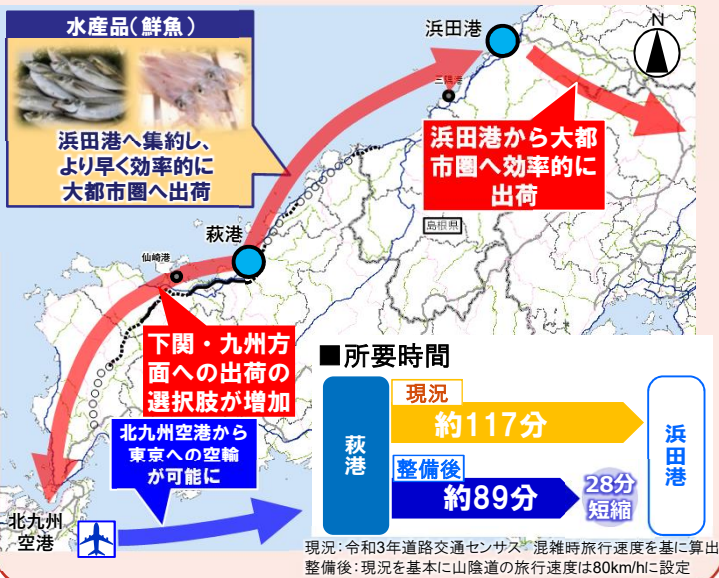
山陰道の整備により、安心・安全で快適な走行環境を実現します。
また、災害時も含めた広域的な連携が強化され、地域産業や広域観光周遊の活性化、救急医療サービスの向上を支援します。

地域産業・経済の活性化

山陰の美味しいものを、新鮮なまま遠くまで届けられます！

山陰道の整備により、大都市への輸送時間の短縮や通行止めの迂回解消による安定出荷、販路拡大が期待され、地域産業の更なる活性化が期待されます。

■山陰からの水産品の主な出荷ルート



観光振興の促進

九州・山陽から山陰へ、観光客が訪れやすくなります！

山陰道の整備により、九州方面からの広域周遊ルートが形成され、近年人気のアウトドア施設へのアクセスや観光地相互の広域的な連携が強化されます。

■九州方面(門司港)から90分圏域



災害に強い国土の実現

もしもの災害発生時も、安定して走行できるようになります！

山陰道の整備により、災害時でも代替となる道路が確保され、迂回を解消します。また、交通の高速化が図られ、利便性向上による都市間連携の強化につながります。

■萩市役所から須佐総合事務所の迂回状況

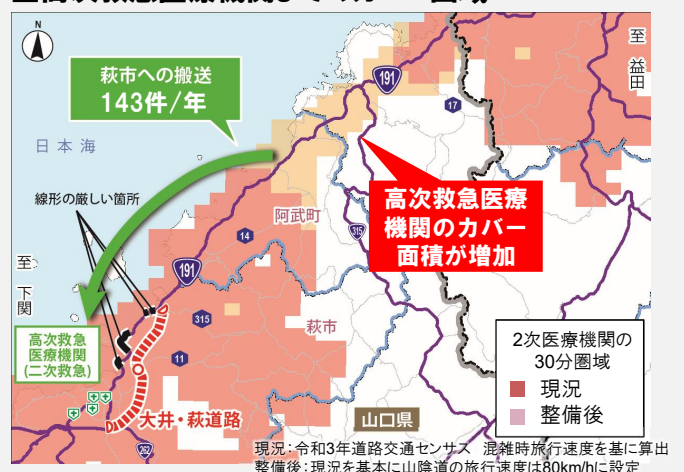


安心できる暮らしの確保

救急病院まで、早く確実に行けるようになります！

山陰道の整備により、高次救急医療機関への搬送時間が短縮し安心感が向上します。また、より患者に負担が少ない搬送が期待されます。

■高次救急医療機関までのカバー圏域



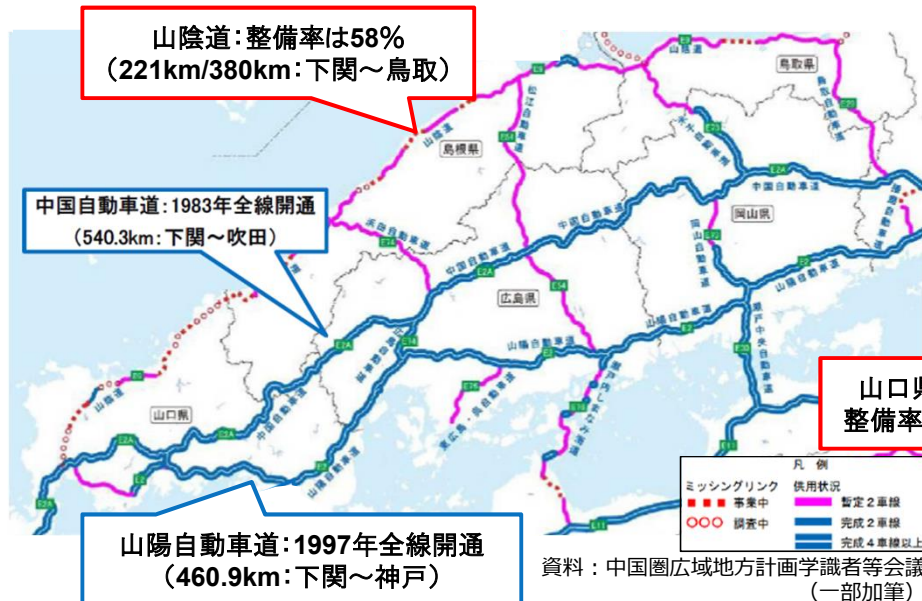
山陰西部 の 現状と課題

山陰西部の現状と課題

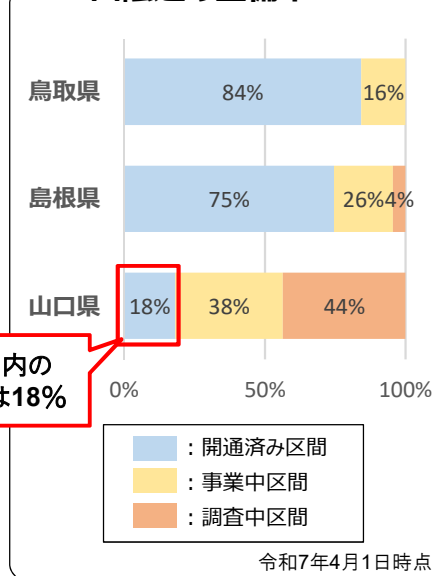
依然として残るミッシングリンク（山陰道未整備区間）

山陰道の整備率は58%に留まっており、特に山口県は鳥取県・島根県と比べても低く、ミッシングリンクが多数存在しています。

■山陰道の整備状況



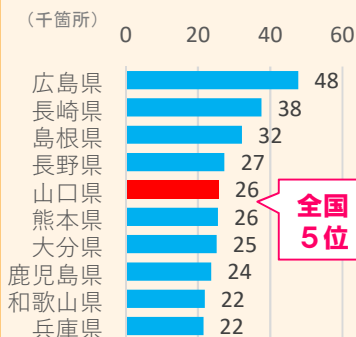
■山陰道の整備率



災害リスクが高い地域

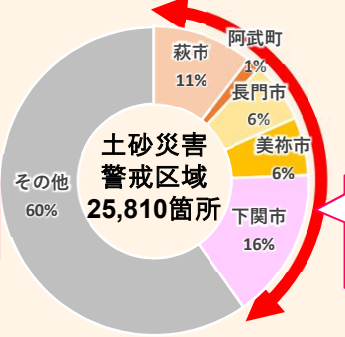
山口県は土砂災害のリスクが高く、山陰道の並行現道では、土砂災害の他、浸水や越波等による通行規制が多く発生していますが、代替路がないため、広域迂回を強いられています。

■土砂災害警戒区域の指定状況（上位10都道府県）



資料：全国治水砂防協会HP（R6年9月時点）

■山口県内の土砂災害警戒区域



資料：山口県HP（R6年10月時点）



下関長門線の土砂災害

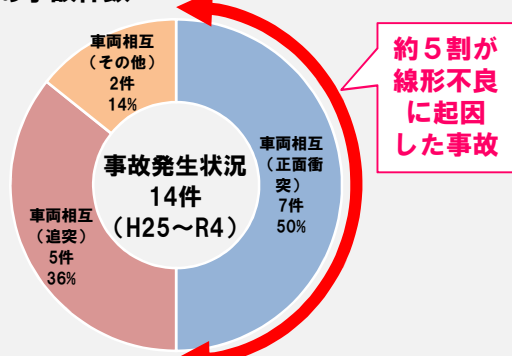


国道191号の越波状況

安全・安心な走行環境が必要

俵山・豊田道路に並行する(主)下関長門線では、急カーブが84箇所あり、線形不良に起因する正面衝突事故が多発しており、幅員が狭く、すれ違いが困難なトンネルも存在しています。

■下関長門線（俵山・豊田道路並行区間）の事故件数



資料：交通事故・道路統合データベース（H25～R4）



下関長門線（俵山・豊田道路並行区間）の課題箇所

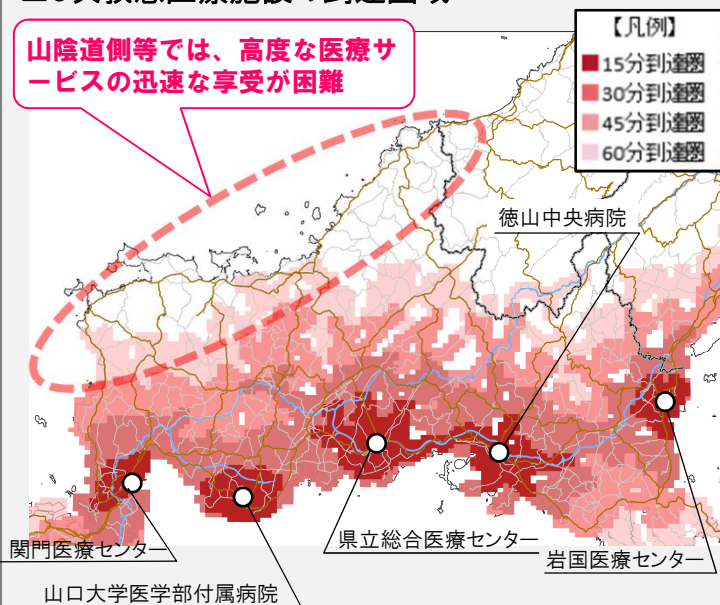
山陰西部地域は、ミッシングリンクが多いため、毎年の豪雨・台風により土砂災害等への対応や救急・医療活動、企業活動、周遊観光において課題を抱えています。

救急医療の享受が困難な地域

県内の3次救急医療施設はいずれも瀬戸内側に立地しているため、長門地域・萩地域は搬送時間が60分以上かかる高度医療の空白地域が多く残っています。

■3次救急医療施設の到達圏域

山陰道側等では、高度な医療サービスの迅速な享受が困難

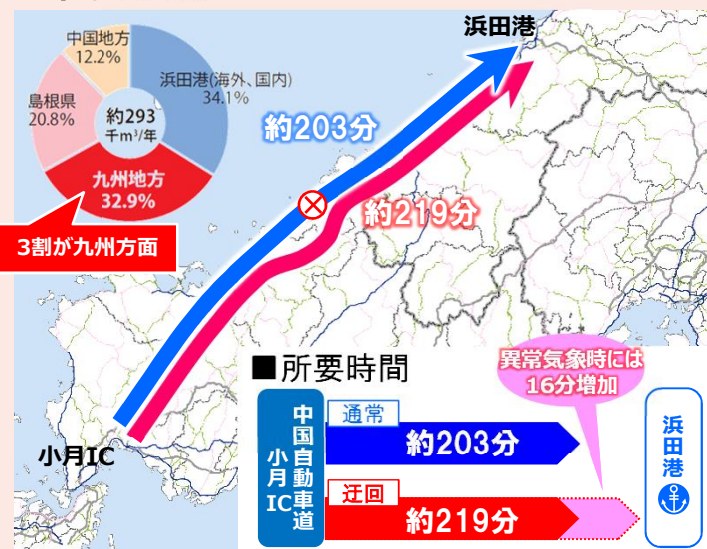


資料：令和3年道路交通センサス
 混雑時旅行速度を基に算出

通行止め時の広域迂回

島根県の国際港である浜田港の合板生産拠点で使用する木材は約3割が九州方面から輸送されていますが、国道191号では異常気象等による通行止めが発生した場合に広域迂回が必要となり、物流に多大な影響を与えています。

■原木仕入先

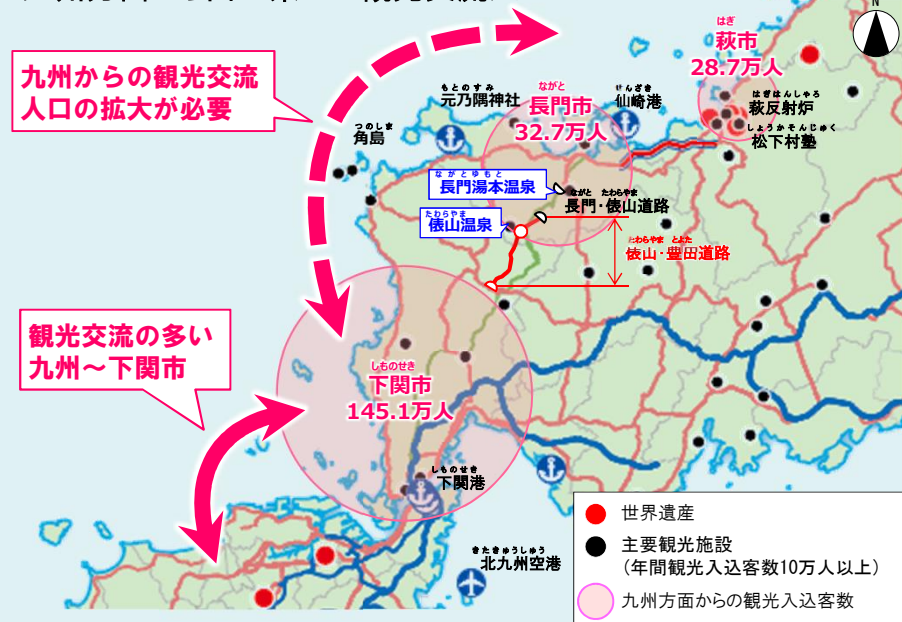


資料：令和3年道路交通センサス
 混雑時旅行速度を基に算出

九州方面からの広域観光ネットワーク

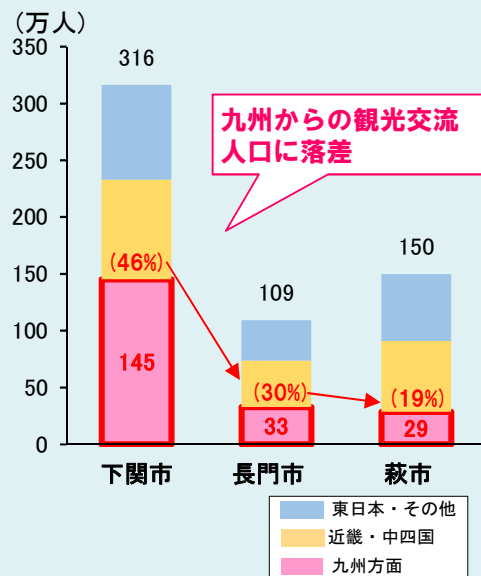
九州等の周辺地域から主要観光地への高速道路ネットワークが繋がっていないため、移動時間が長く、下関市に比べて萩・長門地域への観光交流人口が非常に少なくなっています。

■九州方面から山口県への観光交流人口



資料：山口県観光客動態調査 (R5)

注) 主要観光施設は下関市、長門市、萩市、美祢市、宇部市、山口市に立地する観光施設



資料：山口県観光客動態調査 (R5)

i-Construction & DXの推進

山陰西部のフロントローディング実践

建設業就業者の減少・高齢化を背景に、国土交通省ではi-Construction、インフラDXを推進。山陰西部国道事務所では、事業全体の効率化を見据えたフロントローディングを実現させるため、設計段階で作成したICTデータをそのまま工事現場で活用できるようシームレスで効率的な3次元データの連携強化を推進しています。

中国地方整備局の推進計画

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
i-Construction推進計画			インフラDX推進計画			
生産性向上			整備局職員及び建設就業者等の仕事のプロセスや働き方を改革			
ICT「フル活用」モデル工事の実施 「モデル事務所」等でのBIM/CIMの拡大			BIM/CIM原則適用			
BIM/CIM業務・工事とフロントローディングの活用拡大			建設現場の安全性や効率性を向上			
3次元データの全面的な利活用			行政手続きや暮らしにおけるサービスを変革			
働き方改革			DXを支えるデータ活用環境の実現			
			DXを推進するための人材育成			

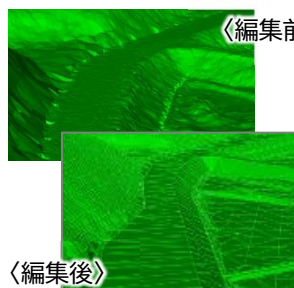
山陰西部国道事務所の取り組み

令和2年4月事務所開設

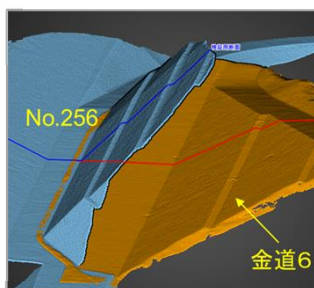
○早期段階から一貫したBIM/CIMを導入するモデル事業
・木与防災
・俣山・豊田道路

測量	設計	施工	広報	用地
・UAV点群データ取得 試行開始	・BIM/CIMモデルの 作成	・ICTデータの 作成・貸与	・バーチャル 現場見学会 BIM/CIMモデルAR、VRの活用	・用地・幅杭立会の 遠隔臨場
・点群ガイドライン作成	・BIM/CIMモデルの 活用	・ICTデータ改善		
・点群の本格運用	・BIM/CIMモデルの 課題抽出	・ICTデータ改善		
	・大井・萩道路で 試行 (課題抽出) ・管理への引き渡し 方法の検討	・ICTデータ試行 ・施工位置モデル 試行		
	・分野ごとのフロント ローディング 検討	・ICTデータの 本格運用		

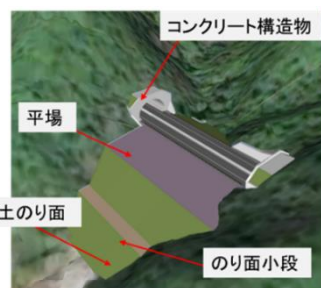
測量・
設計・
施工から
管理への
一貫連携



《編集後》
点群データを活用した地
形モデルの作成



施工後点群データの検証



CIM統合モデルの更新



点群ガイドライン

BIM/CIMで、“もっとわかりやすく” “もっと効率的に”

設計・施工の各フェーズで得た情報を連携させ、3次元モデルをVR、AR等の様々なカタチで活用することで、道路事業を従来の2次元図面より「もっとわかりやすく」地域住民や道路利用者に伝え、道路事業を「もっと効率的に」推進できるよう取り組んでいます。



完成イメージの広報「バーチャル現場見学」



ARカメラを活用した境界立会



現地

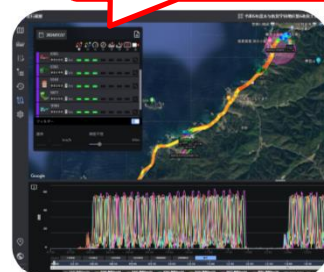
社会経済状況の激しい変化に対応するため、デジタル技術の活用により建設業や国土交通省の文化・働き方を変革しインフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活の実現を目指します。

最新技術の積極的な活用

ICT施工Stage IIにより、工種単位の作業効率化から、工事全体の生産性向上へ

位置情報の見える化による待機ロスの削減

木与防災の改良工事では、ダンプトラックの位置情報をリアルタイムで見える化し、ダンプトラック間や積込み建機と共有することで、待機のロスを削減し、作業効率の向上に貢献しました。



走行軌跡、
速度分布、速度

ダンプトラックの位置情報をスマートフォン等で共有



積込み重量モニター



進捗状況の管理

日毎の進捗を
ヒートマップで表示

積込み重量
を表示

積込み重量の見える化による 進捗状況管理の精度向上

積込み重量表示機能(ペイロードメーター)を搭載したICTバックホウを利用し、ダンプトラックへの積込み土量を見える化し、UAV3次元測量と組み合わせることで進捗状況管理の精度を向上しました。

自己充填コンクリートにより トンネル覆工の省人化

俵山・豊田道路のトンネル工事では、自己充填コンクリートにより、覆工における狭小空間での締固めや配管切り替えが不要となり、省人化が可能となりました。



従来 : 施工人員8
新工法: 施工人員3名

自己充填覆工構築
システム

締固め作業不要
配管盛替え作業不要

下部から圧入

GX バイオ、太陽光発電によるCO₂削減

カーボンニュートラルポート(CNP)の形成推進や建設施工に係わる脱炭素化の促進や道路の多様なインフラを活用した再エネの導入促進やエネルギー消費量削減の徹底、脱炭素に資する都市・地域づくりを推進する取り組みを行っています。



バイオトイレ(循環式)

し尿の排出量削減により、運搬・処理場で発生するCO₂を削減



ソーラー電気

太陽光発電の使用により、排気ガス排出を削減



ICTバックホウ

ICTバックホウの使用により、施工の効率化が図られ、排気ガスの排出を削減

国道
191
ROUTE

起点	山口県萩市下田万
終点	島根県益田市戸田町
延長	7.1km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

事業化年度	令和3年度
用地着手年度	令和5年度
工事着手年度	令和7年度

並行する国道191号は、急峻な山地を通過しており土砂災害警戒区域や河川の浸水想定区域等の災害危険箇所が存在していますが、災害発生時には代替路がないため広域迂回を強いられています。

橋梁部 (橋長50m以上)

Diagram showing the cross-section of a bridge with a total width of 12.0m. The layout includes two 1.75m shoulders (路肩) on the outer edges, two 3.5m lanes (車線), a 1.5m central divider (中央帯), and two 0.5m side margins (側溝). Two cars are shown driving on the lanes.

H25年豪雨による田万川氾濫時の国道191号の状況

至 下関市

至 益田市

凡 例

- 事業中区分
- 一般国道(道幅管理)
- 橋梁
- 主要地方道
- トンネル
- 一般県道
- 市道
- JR
- IC
- (山陰道)
- 事業中区分

令和3年度交通量
R3全道道路・街間交通情勢調査

益田・田万川道路 延長 7.1km

ますだ たまがわ

起点 山口県萩市下田万

終点 山口県益田市戸田町

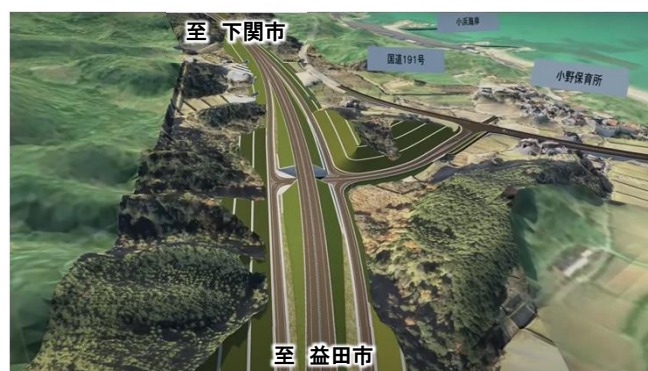
益田西道路 延長約9.1km

令和2年度 新規事業化

日本海

完成イメージ動画はこちら

QRコード



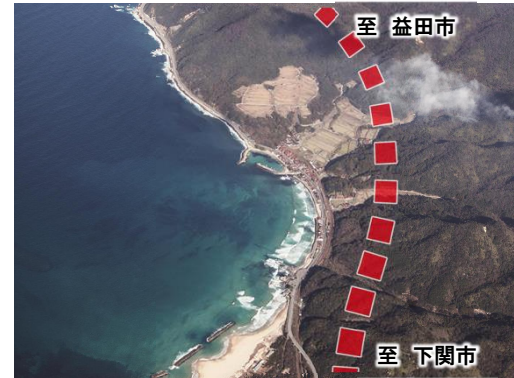
事業概要



木と防災

国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした阿武郡阿武町木与から同町宇田に至る延長5.1kmの道路です。

令和7年度は改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。



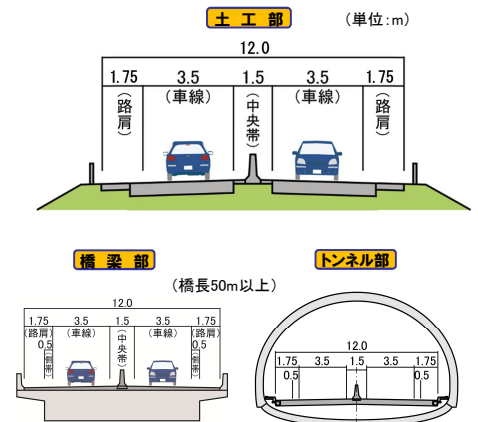
計画概要

起点	阿武郡阿武町木与
終点	阿武郡阿武町宇田
延長	5.1km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

事業経緯

事業化年度	平成29年度
用地着手年度	平成30年度
工事着手年度	令和元年度

標準断面図

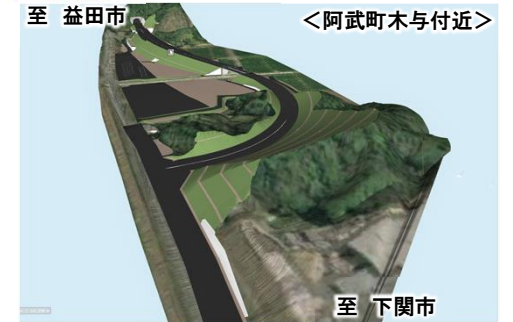


地域の課題

木与地区は海に面した山頂まで切り立った急峻な斜面が広がっており、国道191号では土砂災害による通行止めが多発していますが、災害発生時には代替路がないため広域迂回を強いられています。



完成イメージ



位置図



工事状況写真



事業概要



大井・萩道路

一般国道191号大井・萩道路は、信頼性の高い道路ネットワークの確保及び救急医療活動の支援等を目的とした、萩市椿から萩市大井に至る延長11.1kmの自動車専用道路です。

令和7年度は調査設計及び用地買収、整備工事を推進します。

計画概要

起点	萩市椿
終点	萩市大井
延長	11.1km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

事業経緯

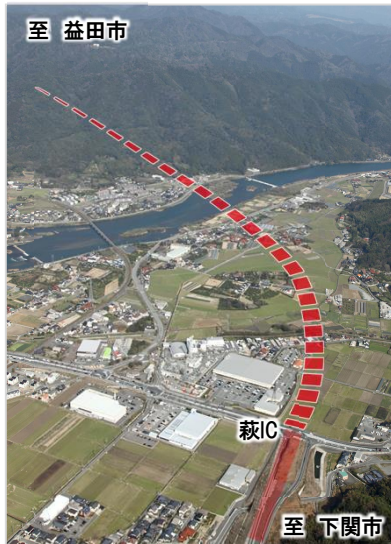
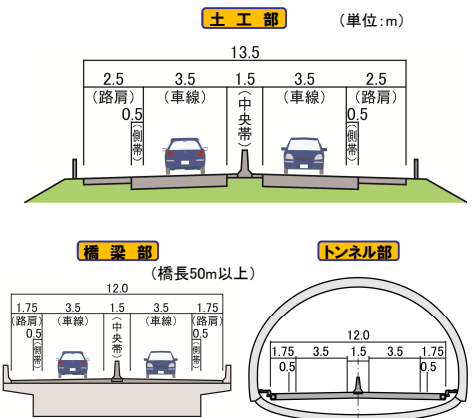
事業化年度	令和3年度
用地着手年度	令和5年度
工事着手年度	令和7年度

地域の課題

並行する国道191号は、急峻な山地と海岸に挟まれており越波や法面崩壊などの危険箇所が存在していますが、災害発生時には代替路がないため広域迂回を強いられています。



標準断面図



位置図



完成イメージ



起点	長門市深川湯本 ながと ふかわ ゆもと
終点	長門市三隅中 ながと みすみなか
延長	10.0km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

事業化年度	令和5年度
用地着手年度	令和7年度

Figure 1-1-1 is a cross-section diagram of a road with a central median. The diagram shows a 15m wide road with a 3m wide central median. On each side of the median, there is a 2.5m wide shoulder and a 3.5m wide lane. The total width is 15m. The diagram is labeled "土工部" (Soil Engineering Department) and "単位:m" (Unit: m).

(橋長50m以上)



三隅・長門道路 延長 10.0km

仙崎IC (仮称)

三隅IC (仮称)

長門湯本温泉IC

長門市深川湯本

長門市三隅中

終点山口県

完成イメージ動画はこちら

QRコード



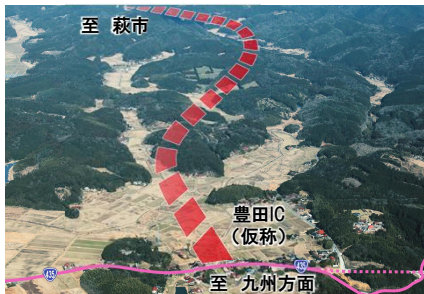
事業概要



俵山・豊田道路

一般国道491号俵山・豊田道路は、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善、下関～長門間の代替路の確保を目的とした、下関市豊田町八道から長門市俵山小原に至る延長13.9kmの自動車専用道路です。

令和7年度は改良工事及び橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。



地域の課題

並行する(主)下関長門線や(一)大河内地吉線は急カーブが連続し、道幅の狭い区間があるなど道路構造上の問題を抱えており、道路の安全性・走行性の向上が課題となっています。

位置図



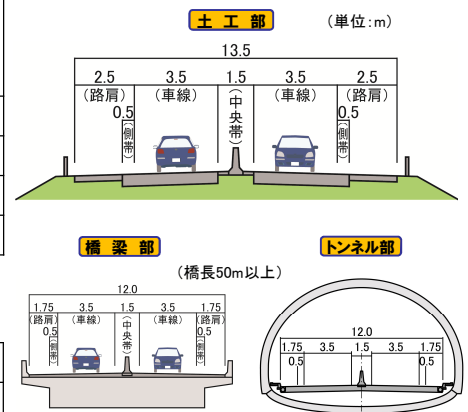
計画概要

起点	下関市豊田町八道
終点	長門市俵山小原
延長	13.9km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

事業経緯

事業化年度	平成28年度
用地着手年度	平成30年度
工事着手年度	令和元年度

標準断面図



完成イメージ



工事状況写真



道路事業は「もっと身近に」

山陰道の現場を地域との接点にすることで、地元小中学生や土木を学ぶ高校生、大学や高等専門学校の学生等の地域の方々に最新の現場技術や施工環境等を体感してもらっています。

現場見学会（山口県立萩商工高等学校）



現場見学会（須佐婦人会）



現場見学会（下関市立西市小学校）



様々な方法で情報発信中

事業進捗に関する情報はホームページだけでなく、SNS(X(旧Twitter))や事業広報誌、道の駅等のパネルやデジタルサイネージでも情報発信し、より多くの方が気軽に情報にアクセスできるよう取り組んでいます。また、発信する情報は現場で活躍する事業者さんにもスポットを当て、タイムリーに発信しています。

事業広報誌



X (旧Twitter)



道の駅における展示・配布



山陰西部国道事務所 バーチャル現場見学

山陰道が建設される様子を様々な動画コンテンツとして配信しています。
VRを使って臨場感のある現場体験… ドローン映像で山陰道を空から一望…
山陰道をバーチャル現場見学してみませんか？

360°動画

ぐるっと見る!

360°動画案内役
さぶる一まる

現場見学はコチラから!!

BIM/CIM
モデル

3Dで見る!

BIM/CIMモデル案内役
ビムシー

タイムリー動画案内役
タイムりん

タイムリー
動画

最新を見る!



山陰西部国道事務所
ホームページ
バーチャル現場見学
<http://www.cgr.mlit.go.jp/saninseibu/vr-site-visit/top.html>

ドローン動画案内役
ドロン

空から見る!

ドローン
動画



X (旧ツイッター)

工事・イベント
情報等をいち
はやくポスト!



山陰西部国道事務所
ホームページ



国土交通省中国地方整備局
山陰西部国道事務所

〒758-0041
山口県萩市大字江向318番地2

TEL(0838)21-3910
FAX(0838)21-3921

道に関する相談に電話1本でお答えします

道の相談室 受付時間は9:30~17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

082-222-6274



道路の異状を発見したら

道路緊急ダイヤル 24時間無料受付

道路緊急
ダイヤル
(無料)

#9910

※NTT(固定電話)、携帯電話(NTTドコモ、au、SoftBank)、
PHS(Y!モバイル)からの通報は無料です。